

シンポジウム 震災資料・史料保存・ 災害史研究の融合をめざして

主催 新潟大学災害・復興科学研究所 被災者支援研究グループ

共催 科学研究費基盤研究（S）「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立—東日本大震災を踏まえて」
研究グループ、新潟大学人文学部地域文化連携センター、新潟歴史資料救済ネットワーク、新潟史学会

日時：2015年12月13日（日）13時～17時50分

会場：新潟大学総合教育研究棟 1F 大会議室

報告

高橋 満 福島県立博物館

瓦礫を資料に変換する—ふくしま震災遺産保全プロジェクトの活動—

日下和寿 白石市教育委員会生涯学習課

白石市における文化財レスキューとその後

福島紀子 長野被災建物・史料救援ネットワーク

長野県北部地震後の文化財レスキュー—拡大する被災地—

川副早央里 いわき明星大学震災アーカイブ室

福島県浜通りにおける東日本大震災の記録と記憶—いわき明星大学震災アーカイブ室の取り組みから考える—

水本有香 神戸大学大学院人文学研究科

阪神・淡路大震災の資料の現状—20年を越えて—

筑波匡介 中越防災安全推進機構 震災アーカイブス・メモリアルセンター

震災遺構と地域の復興—中越メモリアル回廊の事例から—

田中洋史 長岡市立中央図書館文書資料室

長岡市災害復興文庫の構築と発信—新潟県中越地震・東日本大震災の経験を越えて—

中村 元 新潟大学災害・復興科学研究所

日本現代史の中の災害と史料保存—戦後70年の地点から考える

パネル・ディスカッション

司会 矢田俊文（新潟大学災害・復興科学研究所）、報告者

どなたでも参加いただけます。（申込不要）

問い合わせ先 矢田俊文（新潟大学人文学部、新潟大学災害・復興科学研究所兼任）

〒950-2181 新潟市五十嵐 2-8050 新潟大学人文学部

TEL：025-262-6542 MAIL：yata@human.niigata-u.ac.jp